

令和 8 年 7 月吉日

各 位

一般社団法人山口県助産師会
会 長 藤田 房子

一般社団法人 山口県助産師会 研修会のご案内
「こども家庭センターとの連携から考える産後ケアにおける助産師の役割」
～妊娠期から産後まで切れ目のない支援を考える～

平素より、山口県助産師会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

近年、妊娠期から産後まで切れ目のない支援の重要性が高まる中、助産師には母子の健康だけでなく、家庭環境や養育環境を含めた幅広い視点での支援が求められています。

日々の支援の中で、「何となく気になる」と感じる妊婦さんやお母さんに出会いながらも、どのようにアセスメントし、どのタイミングで行政や関係機関につなげればよいのか迷った経験はないでしょうか。また、産後ケア利用後の継続支援や多職種との連携に悩む場面も少なくありません。

本研修会では、行政保健師を講師に迎え、こども家庭センターの役割や支援体制、ハイリスク妊婦・特定妊婦への支援、要保護児童対策地域協議会（要対協）との連携について学びます。また、産後ケアの現場を想定した症例検討やグループワークを通して、支援が必要なサインにどう気づき、必要な支援へどうつながるか、助産師としての役割や行政・関係機関との連携について実践的に考えます。

さらに、会場である母子生活支援施設「沙羅の木」の施設紹介および見学も予定しております。地域で母子を支える社会資源について理解を深める貴重な機会となれば幸いです。

妊婦健診、分娩、外来、訪問、産後ケアなど、活動の場を問わず日々の支援に活かせる内容となっておりますので、ぜひご参加ください。

なお、本研修は産後ケア実務者研修（④地域における保健指導の実際）として位置付けています。

記

日 時 令和 8 年 9 月 27 日（日）10：00～15：30

（研修 4.5 時間、昼休憩あり）

テーマ こども家庭センターとの連携から考える産後ケアにおける助産師の役割
～妊娠期から産後まで切れ目のない支援を考える～

講 師 山口市こども家庭センター 保健師 吉田喜久枝

会 場 母子生活支援施設 沙羅の木
山口市小郡新町 6 丁目 4-11

※駐車場は 10 数台程度と限られていますので、乗り合わせ、または公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします（JR 上郷駅より徒歩約 5 分）。

内 容

- こども家庭センターの役割と支援体制
- ハイリスク妊婦・特定妊婦の理解
- 要保護児童対策地域協議会（要対協）の役割
- 行政との連携の実際
- 母子生活支援施設「沙羅の木」施設紹介・見学
- 症例検討（グループワーク）
 - ① 妊娠期から支援が必要だったケース
～特定妊婦への支援における助産師の役割～
 - ② 産後ケアで初めて課題が見えたケース
～気づきから支援につなぐまで～

対 象 山口県内の助産師

定 員 40 名

参加費 山口県助産師会会員：無料（昼食付）

非会員：5,000 円（※昼食代込）※当日お支払ください。現金のみ対応可。

申込方法 下記 URL または QR コードよりお申し込みください。

【申込フォーム URL】

<https://forms.gle/KNWpiPSQaHbsQC2a8>

【申込フォーム QR コード】



申込締切 令和 8 年 9 月 13 日（日）

問い合わせ先

担当：山井・月原

E-mail：hottohitoikisangocare@gmail.com